
馬鹿とテストと記憶喪失

山上 楓

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

馬鹿とテストと記憶喪失

【Nコード】

N6087Z

【作者名】

山上 楓

【あらすじ】

吉井明久が記憶をなくした…
それも…女子生徒だけという…
そんな馬鹿なと思っていたが…
やっぱり記憶はなくなっていて…

僕の記憶を返して…（前書き）

まだ別の話も書きあがっていないんですが…
ゆっくり行きますのであしからず…

僕の記憶を返して…

………
見上げたら…白い天井…ではなく…ただの病室だった…

「アキー!!」

「明久君!!」

「お、起きたのか、明久よ。」

「………?」

「明久…どうした…?」

「この子達…誰…?」

「………は?姫路に島田に木下じゃないか。」

「………?」

何言ってるの雄二?

「………お前…分からないのか…?」

「………初対面だよね…?」

「………いや…一年以上一緒だぞ…」

………え?一年以上…?

「アキ…アタシが分からないの…?」

「明久君…私分からないんですか…?」

「………」

僕が出した答えは一つ…

「………誰…?」

ただ…それだけだった…

僕の記憶を返して…（後書き）

以上です。

短いなんて言わないでください…

これからのほんんと書いていきますのでよろしく願いします！
！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6087z/>

馬鹿とテストと記憶喪失

2011年12月20日13時49分発行